

将来に**希望**が持てるまちづくり

つがる市誕生以来、連続3選を果たした福島市長の決意



つがる市長 福島 弘芳



当選証書を受け取る福島氏

ふくしま ひろよし

福島 弘芳 (67歳)

プロフィール

1945年木造林生まれ。日本大学理工学部卒。
旧木造町議7期、議長、助役を経て2003年4月に
旧木造町長に就任。05年初代つがる市長に就任、
09年再選。



1

農産物のブランド化を推進

私は今後4年間の市政運営を担うにあたり、次の6つの政策を柱にまちづくりを進めたいと考えています。

福島市長3期目への決意

任期満了に伴うつがる市長選挙は2月17日告示され、現職の福島弘芳氏がただ一人立候補し、無投票で3度目の当選を果たしました。2月25日、当選証書付与式が市役所で行われ、乳井三いつがる市選挙管理委員長から福島氏に当選証書が手渡されました。

任期は平成25年3月13日から29年3月12日までの4年間です。

つがる市の基幹産業が農業であることから、農家所得の向上を図るため、農産物のブランド化を進めて参りました。農産物の付加価値と競争力を高め、安定した農業経営を確立することが農家の生産意欲を高め、若者が農業を魅力ある職業として選択することで農業従事者の高齢化や後継者不足の解消に繋がるものと考えています。

今後も、消費者へ浸透したブランドとして更なる推進と、JAなど生

産基盤の支援や、新規就農者、認定農業者など意欲ある担い手の育成に取り組んで参りたいと思っています。併せて地産地消も含め、販路拡大のためトップセールスで先頭に立ち、つがる市の魅力を発信していきたいと考えています。

2 安心して子どもを産み育てられるまち

少子化はつがる市においても例外ではなく、核家族や女性の社会進出の増加により、安心して子どもを産み育てることが困難な状況が多くなっています。育児にかかる負担も増大しており、負担を軽減するため、いち早く中学生までの医療費を無料化する「子ども医療費全額助成」を実施しており、引き続き市独自の支援事業を展開して参ります。

また、親が育児ストレスを抱え込むことなく、子どもを産み育てやすい環境を構築していきたいと考えています。子育て世代こそ、地域活性化の礎であると感じるからです。

3 世界文化遺産で誇れる観光の推進

つがる市の亀ヶ岡遺跡と田小屋野貝塚は、「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」として、平成27年

度の世界遺産登録に向けて、4道県並びに関係自治体が連携する取り組みを行っています。国民的財産である文化遺産を次世代へ継承していくことは、ここに住む者の務めであり、埋もれた貴重な財産を掘り起し、教育や観光などのまちづくりの資源として育てて参りたいと考えています。今後は適切な保護と文化活動の拠点整備を進めるなど、つがる市民が誇れる文化の薫り高いまちづくりを推進したいと思っています。

4 生涯学習と文化とスポーツを育むまち

今、健康や体力づくりへの関心が高まっており、生涯学習・生涯スポーツへの機会充実が求められています。子どもから高齢者まで、さまざまな世代が共に楽しみ、活動することができる体制を構築していく必要があります。生涯スポーツを通した健康づくりの推進と活動の拠点となる施設の整備に取り組んで参りたいと考えています。

5 老後が安心な福祉のまち

つがる市の65歳以上の高齢者の割合は年々増加し、平成24年における

高齢化率は31%、およそ3人に1人が高齢者という状況に加え、核家族化に伴って、ひとり暮らしや高齢者のみの世帯が増加する傾向にあります。

今、高齢者が自分らしく生きがいを持って生活できる地域ぐるみの取り組みが求められています。そのためにもさまざまな分野間の連携や地域活動を行う団体等との協働により地域全体で支え合う仕組みの構築と各種団体の活動を支援して参りたいと考えています。

また、高齢者が介護を必要とする状態になったとき、必要に応じた適切なサービスが受けられるよう、多様な事業者の参入を促進するなど介護保険事業の基盤整備を促進して参ります。併せて、地域医療の供給体制を充実させるとともに、買い物や病院などに行く際、交通手段などの不安を解消することに努めたいと思っています。

6 商工農が連携したふるさとを創造

商業については、既存商店街が衰退し、空き店舗など中心市街地の空洞化が進んでおり、地域づくりの観点からもその活性化が求められています。また、企業誘致など工業部門

におきましても、円高による輸出競争力の低下や景気後退により、立地企業の創業停止や人員削減が進んでいます。

つがる市の農業振興を進め商工業の活性化につなげるためにも、当市の強みである農産物を活かした、つがるブランド加工品開発の支援・強化に取り組むことで地域ビジネスとしての6次産業化を推進して参りたいと考えています。

かけがえのない「自然豊かなつがる市」を次世代に伝え、輝ける未来を築くためにも、これら6つの柱を軸に「すべての市民が安心して暮らせるまちづくり」「将来に希望が持てるまちづくり」に全力で努めて参ります。

